

\*本学校運営基本方針は、2020年2月6日の学校運営協議会にて提案し、基本線の承認をいただきました。そこでの意見を踏まえ、職員の意見もいただき、一部修正追加しました。2020年版の新内容は、緑字にしております。ご了承ください。

## 2020年度 学校運営基本方針

新井中央小学校長 加藤 晃

### 1 人権教育、同和教育を柱にした教育活動を展開していく

#### 「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」を実践

##### <合い言葉にかけた願い>

- ・「今、自分にできることは何か」と考え、行動するようになってほしい。
- ・学習や活動において、当事者の立場に立つようにしたい。
- ・子どもたちの生活を、受け身の生き方から、自主自立の主体的な生き方にしたい。
- ・一人一人が自分に自信をもち、「自分なりの、自分ならではの力」を発揮してほしい。

##### (1) 「なかまの時間」を中核にした人権問題、同和問題についての学習

- ・「なかまの時間」の計画的実践、職員研修の実施、授業公開の実施
- ・指導計画や指導内容の見直し

##### (2) 授業、なかよし班活動、学校行事等を人権教育、同和教育実践の場に設定

- ・全体計画の作成と実践、児童の実態の見取り、取組の振り返り

##### (3) 保護者、地域と協力した取組

- ・「なかまの時間」の授業公開の実施（10月9日にNIE発表と兼ねて）
- ＊2回目（1月）の授業公開は、校内、保護者、地域のみとする。
- ・学校だより等での啓発

##### (4) 特別支援教育の充実

- ・一人一人のちがいを大切にし、一人一人に合った指導・支援をする。
- ・「合理的配慮」の充実

＊「今、ここ」を大切に！実践は日常にあり！

＊全国人権・同和教育研究大会新潟大会（上越大会）10月31日（土）、11月1日（日）にて本校の実践発表予定（研究主任、校長）

### 2 新学習指導要領による教育課程を実践する

#### 主体的に対話し、深い学びに向かう力の育成

##### (1) 「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業実践

- ・校内での実践取組、授業公開、研修会の実施

##### (2) NIEを取り入れた「なかまの時間」や教科授業の実践（今年度10月9日公開）

##### (3) 新教育課程の実施と改善

- ・ゆとりを持った授業時数の確保のための週時程や学校行事等の実施と見直し
- ・教科等の新指導計画の実施と見直し

##### (4) 各種共通テストの有効活用

- ・全国学力テスト、学力向上支援システム、学習指導改善調査、NRTの結果の分析と活用

##### (5) 「放課後パワーアップ教室」の効果的運用

- ・指導者の確保、参加者の意識づけ、効果的指導形態の工夫

#### (6) 課外活動終了後の放課後活動の工夫

- ・昨年度をもって体育部、金管部、合唱部の課外活動を終了した。
- ・マーチングバンドの練習時間を効率的に確保
- ・今年度からは放課後活動として、マーチングバンド、陸上を実施する。

### 3 あいさつ、生活習慣を向上させる

#### あいさつは継続なり

- (1) あいさつ運動の継続、保護者や地域への啓発
  - ・マンネリ化にならない取組
  - \*「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」になる笑顔のあいさつを！
- (2) メディア、インターネット利用の心得指導
  - ・喫緊の課題、学年を問わず継続して指導の機会をもつ
  - ・「妙高市 インターネット等の利用に関するこども宣言」を生かした取組を工夫する。
- (3) 健康習慣向上週間の継続 食育の充実
  - ・ネット利用、読書、心の教育等と関連づけて効果的な実施を工夫する。
  - \*自分のため、みんなのために自分で考え、自分で決め、自分で律する！

### 4 家庭や地域と力を合わせて学校づくりを進める

#### 保護者、地域の人と協力して教育活動を行う

保護者、地域の方々とたくさんの一緒に活動があるはず。このような活動が教育活動への参画、すなわち、コミュニティ・スクールが目指すところであるとの認識で行う。

- (1) 今年度実施の30周年にかかわる準備を保護者、地域と協力して行う。(11月7日学習発表会・創立30周年記念式典・祝賀会)
  - \*コミュニティ・フェスティバルの体験活動は、周年行事に注力するため、今年度は休止。
- (2) 安心・安全ボランティアとの連携
  - ・安全ボランティアとの顔合わせ会、情報交換会の設定
  - \*いいことも、わるいことも、なるべく見せて、伝えて、いいことはともに喜び、たいへんなことは助けていただく！子どもも職員も助けていただくだけの存在ではなく、地域にも貢献できることもあるはず。なるべく地域にも貢献しよう！

### 5 働き方改革を進める

#### 子どもと向き合う時間を創るため変えるべきことは、変える

校時表の見直し、週当たり授業時数の見直し、夏季休業期間の見直しと工夫、家庭訪問方法の工夫、通知表記載内容の工夫、5・6年生の放課後活動内容の工夫等

### 6 大切にしたいこと

- ・自分の立ち位置
- ・何をおいてもすぐやること
- ・なかよく
- ・子どもとともに生きる意味
- ・無理せず、できることを継続